

## 令和4年度 第1回文京区地域福祉推進協議会保健部会 要点記録

日時 令和4年5月10日（火）午後2時から

場所 文京シビックセンター24階第1委員会室

### <会議次第>

I 開会

II 議題

(1) 令和4年度の分野別検討体制及びスケジュールについて

【資料第1号】

(2) 健康に関するニーズ調査の概要について

【資料第2号】

(3) その他

III 閉会

### <文京区地域福祉推進協議会保健部会部会員（名簿順）>

#### 出席者（会場参加）

神馬 征峰 部会長、神澤 輝実 部会員、坂庭 富士雄 部会員、渡辺 泰男 部会員、諸留 和夫 部会員、黒住 麻理子 部会員、白土 正介 部会員、黒島 寛二 部会員、西村 久子 部会員

#### 出席者（Zoom参加）

佐藤 文彦 部会員、三羽 敏夫 部会員、岩楯 新司 部会員、橋本 初江 部会員、柴藤 徳洋 部会員、大内 悦子 部会員、藤原 武男 部会員、川田 智之 部会員、谷川 武 部会員、小山 忍 部会員、山口 麻衣 部会員

#### 欠席者

内海 裕美 部会員、山道 博 部会員、藤原 智子 部会員、松尾 裕子 部会員

### <事務局>

#### 出席者

矢内 保健衛生部長、熱田 生活衛生課長、渡部 健康推進課長、長嶺 予防対策課長、野苺家 新型コロナウイルス感染症対策課長、大塚 保健サービスセンター所長

#### 欠席者

なし

### <傍聴者>

なし

## I 開会

開会・委員の出欠状況・会長指名・会長の職務代理指名・配布資料確認・会長へ進行依頼。（議事省略）

## II 議題：（1）令和4年度の分野別検討体制及びスケジュールについて

熱田課長：（1）令和4年度の分野別検討体制及びスケジュールについて【資料第1号】の説明（議事省略）

神馬部会長：色々な分野がありますが、分野間の連携はどのようになっていますでしょうか。

熱田課長：分野間の連携としては、地域福祉推進協議会があり、こちらの方でまとめて協議する形になっております。各部会は概ね同じようなスケジュールで、関係課で資料等もあまり部署によって大きな違いがないように調整をしながら、それぞれの部会で検討を進め、最後は地域福祉推進協議会でまとめてご審議をいただくという流れになっております。

## II 議題：（2）健康に関するニーズ調査の概要について

熱田課長：（2）健康に関するニーズ調査の概要について【資料第2号】の説明（議事省略）

諸留部会員：2の調査対象者及び調査項目の（1）の調査対象者について、成人年齢の引き下げに合わせて18歳以上から対象にするということですが、過去の調査票を見るとたばこ・アルコールについての質問があるので、18歳以上のところは20歳以上でいいのではないかと思います。

熱田課長：今回18歳以上とさせていただいたのは、成人が18歳以上になったことがまずありますが、それとあわせてより若い世代に対して調査を行って若い世代の意識を把握する、あるいは意識啓発を行うというようなことにもつなげたいと思って18歳以上とさせていただきました。ただ、ご指摘の通り、たばこ、アルコールに関して20歳未満は法律で禁止されていますので、どのような設問とするかは考えていきたいと思っております。

神澤部会員：がん検診に関してですが、受診場所で分けるのであれば検査方法で分けた方がいいと思っておりますが、いかがでしょうか。健康に対する意識という意味で大まかに検診を受けているか受けていないかということ調べる目的でこのように聞いているということでもよろしいですか。もし次のさらなる一歩を目指すのであれば、検査方法で分けて、検査に対する意識付けやその方法を探るのもいいのではないかと思います。さらに、それぞれのがん発見率とかそういうものまでアンケートの答えとして出れば、次からは私はこっちの検査をしようかという変化づけができるようにも思います。それから、肺がん検診の選択肢には区の実施する検診がありませんが、文京区では肺がん健診は行っていないのでしょうか。

渡部課長：肺がん検診は前回のアンケートをとった時点ではまだ実施していなかったのですが、現在は実施しておりますので、今回の調査には入れる形になります。

神馬部会長：肺がん以外のコメントについてはいかがでしょうか。

**渡部課長**：アンケートは質問数が増えると回答率が下がってしまうということもございますので、先生がおっしゃられたように、ある程度大まかな調査ということにはなります。特に区の場合は、対策型検診として国の指針に基づいた検査を行っております。職域等、区検診以外で受診した方のデータがないということもございますが、質問方法につきましては今後検討させていただきたいと思います。

**坂庭部会員**：今調査年齢ということでご意見がありましたが、法律の問題ではなく、実態を調べるという意味では、18歳以上で構わないのではないかと思います。

**小山部会員**：今の若い人はわりと社会参加、今後自分達の将来がどうなるかということ自分を比べるとずっと深く考えていて、健康も含めて、地域の行政が今後どうなるかということに興味を持っている人は少ないと思いますので、時間さえ許せばアンケートには答えてくれると思います。逆にその意見を行政に活かして欲しいと思っている人もいるのではないかというふうに思いました。あと、アンケートの内容でお伺いしたいことが4点あります。まず1点は、調査対象者は無作為にということですが、年代的に全て男女も平均的にならしてということでしょうか。2点目は前回の回答率はどのくらいだったのでしょうか。3点目、質問内容についてですが、記述方式なのか、点数で選ぶような感じなのかざっくり教えていただきたいです。4点目、集計分析について、実際は区役所の職員の皆さんが手作業でされているのか、どのようなイメージなのか教えてください。

**熱田課長**：まず年齢の人口の考え方ですけれども、年齢ごとに人口は違いますので、その年代の人口に応じていわゆる比例配分という形で数を決めて、無作為抽出をさせていただきます。次に、前回の回答率については4,800人に送りまして回収が2,104人、回収率は43.8%です。次に、設問につきましては、基本的にはいくつか選択肢がある中から選ぶという形を考えております。その中に多少自分で記述できるものを設けるかというところがございます。最後に集計分析につきましては、調査会社に委託して実施する形になっております。

**神馬部会長**：集計分析結果の中に前回との比較がありまして、縦の流れがわかるようになっています。前回と今回の違いが計画にも反映できるといいのかなという印象は持ちました。それから、クロス集計はどのような形で行っていますか。

**熱田課長**：たとえば、年代ごと、性別ごとにクロス集計したものがございます。

**神馬部会長**：あと喫煙と受診とか飲酒と受診行動の関係とか、そういった分析はないのでしょうか。

**熱田課長**：そういったようなところも含めて、これからどういうクロス集計をしていくかというところは考えていきたいと思っております。

**神馬部会長**：せっかく貴重なデータがありますので、様々な生活習慣と受診行動がどう関係あるかというデータはあってもいいのかなと思いました。あともう1点気になるところは、4,800人に聞くことになりましたので、アンケートに答える方がコロナの状況でどういう工夫をしているのかとか、文京区民の知恵を聞く

ような質問があってもいいのかなと思いました。他にも皆様からコメントありましたらお願いします。

**坂庭部会員**：今部会長がおっしゃったように、コロナについてという部分で、区民もコロナの大流行で健康に関する意識はだいぶ変わってきたのではないかと思います。その辺が明らかになるような質問項目を工夫してくださると、こういうふうに変化した、じゃあどうしたらいいのかと分かってくるのではないのでしょうか。コロナによって、皆さんがいろいろ啓発されるというか刺激をされたことがたくさんあると思います。それがわかるような形で質問を考えていただきたいです。

**神馬部会長**：ありがとうございます。その点力を入れてやっていただければと思います。

### Ⅲ 閉会

**熱田課長**：第2回の地域福祉推進協議会保健部会は地域保健推進協議会と合同開催です。日程は7月26日を予定しております。以上を持ちまして、本日の会議を閉会と致します。どうもありがとうございました。